
株式会社ジェクトワン × 戸板女子短期大学

「空き家活用」における産学連携プロジェクトを本格始動

調印式・概要説明会で学生が最優秀事業プランをプレゼンテーション

不動産の売買・賃貸・仲介および空き家活用事業を展開する株式会社ジェクトワン（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大河幹男 以下、ジェクトワン）と、戸板女子短期大学（所在地：東京都港区、学長：小林千春）は、「空き家の活用」に関して産学連携協定を結び、8月4日（火）に戸板女子短期大学三田キャンパスで、本プロジェクトに関する調印式、ならびに概要説明会を開催しました。

戸板女子短期大学国際コミュニケーション学科の学生が、社会問題となっている“空き家問題”を解決するための取り組みとして、「港区芝にある空き家の活用」を企画する課題授業が本年5月より開始しました。約130名の同学科1年生が[空き家活用サービス「アキサポ」](#)を手掛けるジェクトワン地域コミュニティ事業部とともに、実現性や収益性を踏まえた空き家活用事業プランを考案してきました。そして7月16日（木）に学生による事業プランのプレゼン大会がオンライン上で開催され、数ある事業プランの中から最優秀賞として、忙しいビジネスマンを応援する「おにぎり専門店」として空き家を活用し、事業展開を行うプランが選出されました。

今回の調印式・概要説明会では、戸板女子短期大学 小林千春 学長、ジェクトワン代表取締役 大河幹男、戸板ゼミナール国際コミュニケーション学科の学生たちが登壇し、産学連携プロジェクトを始動した経緯、取り組み概要、今後の事業化に向けたビジョンや展開、ビジネス化への可能性などについて説明した後、最優秀賞に選ばれた学生グループが事業プランのプレゼンテーションを披露し、空き家活用店舗のコンセプトや展開メニュー、収益性など細部にいたるまで詳しく説明を行いました。会の最後には表彰式も行われ、当社代表取締役 大河幹男が学生たちを表彰しました。



調印式・概要説明会の様子

■戸板女子短期大学 小林千春 学長 コメント

今回、不動産ビジネス事業者様との産学連携プロジェクトは初めての試みです。不動産業界は、女性が活躍できる機会と可能性がいろいろとあります。その意味でも、今回のプロジェクトは非常に意義があると言えるでしょう。今年入学した1年生は、感染症拡大の影響で大学に一度も通学することなく、オンライン授業のみで前期課程が終了してしまいましたが、高校を卒業してすぐに、こうしたビジネスの第一線で活躍する人たちから基本を学び、事業化へ向けて前進できたことは、なにもにもかえがたい自信につながったと思っています。



■ジェクトワン 代表取締役 大河幹男 コメント

戸板女子短期大学の学生たちは、国内の空き家事情を一から学び、プレゼンテーションに向けてトレーニングを重ね、様々な可能性を調べ尽くしたうえで、今回提案してくれました。この事業プランが、ビジネスとして成り立つよう、全力で事業化を考えていきたいと思えます。そして、学生ならではの新しい発想、新しい知恵と共に、この産学連携プロジェクトを前進させていきたいと思っています。



ジェクトワンと戸板女子短期大学は今後、この最優秀賞の事業プランを基に、事業化へ向けて産学連携プロジェクトを加速させていきます。

■調印式・概要説明会当日の様子



学生によるプレゼンテーション



最優秀グループ表彰の様子

■会社概要

社名	株式会社ジェクトワン
所在地	東京都渋谷区渋谷1-7-7 住友不動産青山通ビル13F
設立	2009年1月28日
代表取締役	大河 幹男
資本金	1億円（2019年4月時点）
社員数	54名（2020年1月現在）
事業内容	不動産の売買・賃貸・仲介／中古マンション・戸建ての買取再販事業 不動産開発事業／不動産コンサルティング事業 空き家再生事業（アキサポ： http://www.akisapo.jp/ ）